

資料室便り

交通経済研究所資料室

■新着書棚から（新しく受け入れた資料の紹介）

『地域の発展と鉄道』

地域交通を考える編／交通環境整備ネットワーク
発行／2023年11月／A5判／126ページ／
1,500円（税込）

一般社団法人交通環境整備ネットワークが主催する「地域鉄道フォーラム」では、鉄道の価値や地域と鉄道の関係について有識者による議論を重ねてきた。本書は、これまでの議論を集大成したものであり、鉄道を軸とした地域の交通環境を再構築・整備する際の助けとなるべく刊行された。2023年の改正地域交通法公布・施行を受けて、今後は地域関係者間の連携と協働がより促進され、利便性・生産性・持続可能性の高い地域公共交通のり・デザイン（再構築）が加速化していく。例えば、事業者による存続は難しいものの、地域のシンボルとして住民に必要とされているような鉄道路線、これを地方自治体はどう維持していくか。そこに必要となる社会制度や人材育成などについても触れている。

原□

■書庫のなかから（所蔵資料の紹介）

『貨物鉄道百三十年史』

日本貨物鉄道、貨物鉄道百三十年史編纂委員会編／
日本貨物鉄道発行／2007年6月

環境問題や物流2024年問題など、貨物鉄道がおかれている環境は刻々と変化している。また昨年は、日本の鉄道における貨物輸送がはじまって150年の節目の年を迎えた。本書は、国鉄改

革から20年目に日本貨物鉄道（JR貨物）が、自社の記録にとどまることなく、貨物鉄道130年の歴史を取りまとめたものである。4巻からなり、上巻は通史、中・下巻は部門史、別巻は索引である。鉄道全般については、『日本国有鉄道百年史』をはじめとする各種記録が刊行されているが、貨物輸送に焦点を当てたものとしては貴重であり、貨物鉄道を知る上で参考になる。なお、本書には姉妹編の『写真でみる貨物鉄道百三十年』がある。また、資料室ではJR貨物や臨海鉄道などの貨物鉄道関連年史も所蔵している。これらも併せてご覧いただきたい。

土方□

■新着情報（2023年11月分）

- 1 JRは生まれ変わるか——国鉄改革の功罪 読売新聞経済部 中央公論新社 2023年10月
- 2 東急100年史 東急100年史編纂事務局 東急社長室広報グループ 2023年9月
- 3 大風呂敷——後藤新平の生涯（上・下） 杉森久英 毎日新聞出版 2023年8月

→続きの情報はホームページで

*上記以外の新着図書や新着雑誌につきましては、ホームページをご覧ください。キーワードによる蔵書検索も可能です。併せて月別の「新着図書目録」も掲載しています。



■資料室からのご案内

新しい年を迎えました。2024年は東海道新幹線開業60周年をはじめ、交通に関する節目を迎えます。この機会に資料室蔵書で当時を振り返ってみてはいかがでしょうか。

本年も資料室では収集・保管している資料をご紹介します。読者のみなさまの一助となれば幸いです。

担当：土方規義 古森崇史 原祥太 田邊由佳